

令和3年2月

大阪府立豊中高等学校  
校長 平野 裕一

## 学校教育自己診断に関するアンケート調査結果について

平素は本校の教育活動にご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も「学校教育自己診断」を12月に実施し、645名(60.5%)の保護者の皆さまから回答をいただきました。生徒実施分1,004名(94.2%)とあわせて結果とそのまとめを報告いたします。

昨年同様、生徒・保護者の方々の回答とも、大半が肯定的な結果でした。とりわけ、今年度より各HR教室にパソコン・プロジェクターが設置され、「授業等でICT機器が使われる機会がある」においては、昨年度の76.3%から94.7%(+18.4%)、「授業で自分の考えをまとめ、発表する機会がある」においては、昨年度の85.9%から、今年度は、91.5%(+5.6%)と肯定値が大幅に上がりました(いずれも生徒のアンケート結果)。

本校では、グローバルに活躍できる人材育成の観点から教育活動を行ってまいりました。今年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業からのスタートでしたが、新学習指導要領に向けての新たな取り組みやSDGs・Society 5.0を踏まえて授業改善を重点的に取り組み、引き続き多様な学びの形態を通して、生徒の皆さん一人一人の「志」の実現をサポートします。

一方、新型コロナウイルス感染症による学校行事や部活動や研修旅行、課題研究等への影響は、生徒の本校に対する満足度を低下させる要因となったようです。いただいた調査結果を参考にして、次年度の教育活動を充実させてまいります。

ご家庭におかれましても本校の教育活動により関心を持っていただき、また、お子様のよりよい生活・学習習慣確立へのサポートをどうぞよろしく願いいたします。

### 生徒アンケート調査結果のまとめ

※数字は、質問項目の肯定的回答率です。

#### ◆「学習の評価」について

項目2 「授業内容は自分の学習や発達に役立っている」 (R1) 91.2% ⇒ (R2) 88.4%

項目3 「教材や指導方法に工夫が感じられる授業がある」 (R1) 88.1% ⇒ (R2) 88.5%

項目4 「授業で自分の考えをまとめたり発表する機会がある」 (R1) 85.9% ⇒ (R2) 91.5%

豊中高校では、教員それぞれが生徒の思考力を高める授業づくりについて日々模索しています。それを「豊高型アクティブラーニング」と名づけ、生徒の自律を促す授業スタイルが着実に根付いてきたと感じています。

今後も生徒の皆さん一人ひとりの「自己実現」をめざし、カリキュラム編成や教材づくり、授業づくりに教科はもちろん、教科の垣根を超え全教職員で取り組んでまいります。授業は、教員だけでなく生とともに創るものです。引き続き、生徒の皆さんと共に高めあう授業づくりを行います。

項目10 「自習室を利用している」は、26.7%(R1) ⇒ 31.9%(R2)と利用率は少しずつ上がってきました。教科準備室の環境整備も進んでおり、有効な自習室のあり方を引き続き模索したいと考えています。

◆「ご家庭での学習について」は、以下の通りです。〔①1年生、②2年生、③3年生〕

項目 7 「自宅等で、家庭学習の習慣ができている」

(R1) ①45.6% ②45.7% ③84.2% ⇒ (R2) ①50.0% ②58.8% ③85.0% ※全体で6.1%増

項目 8 平日の家庭学習時間が2時間以上」

(R1) ①20.3% ②18.8% ③91.6% ⇒ (R2) ①22.2% ②34.1% ③91.8% ※全体で5.9%増

項目 9 「休日の家庭学習時間が2時間以上」

(R1) ①50.1% ②42.8% ③95.1% ⇒ (R2) ①54.3% ②62.6% ③94.4% ※全体で7.8%増

新型コロナウイルス感染症による休業の影響を受けているのか、「家庭で勉強する」という習慣、またその学習時間が昨年以上に増加していることがわかりました。今のうちから少しずつ学習に集中して向かう時間を増やしているのはいい傾向です。オンライン上のコンテンツも増えましたが、効果的な学習法についても教員にどんどん相談してください。今回も好評だった「学習サポートプログラム」などを通して、自学自習の習慣の見直しを図り、意義を考えながら参加してほしいと思います。

◆進路指導について

項目 20 「希望する進路を実現するための講習や補習が充実」 (R1) 77.3% ⇒ (R2) 81.2%

項目 18 「学校では進路についての情報を得ることができる」 (R1) 88.7% ⇒ (R2) 90.2%

項目 19 「将来の進路や生き方について考える機会がある」 (R1) 86.4% ⇒ (R2) 87.3%

項目 14 「わからない所を質問に行ったら、丁寧に教えてもらえる」 (R1) 92.6% ⇒ (R2) 90.0%

項目 23 「先生は進路や学校生活等の悩みや相談に親身になって応じてくれる」  
(R1) 85.9% ⇒ (R2) 79.9%

項目 11 「学習の意欲が向上するような講演や行事がある」 (R1) 57.2% ⇒ (R2) 58.6%

概ね肯定的回答割合は高い結果となりました。しかし、項目 23 の結果が大きく下がっています。新テストの導入や新型コロナウイルス感染症による生徒への影響が、教員が考える以上に大きいものとなっていると考えられます。先の見通しが立たない状況ですが、迅速な情報収集・提供を行うことで、生徒の皆さんの具体的な意識や行動の変容につながるような進路指導を実践していきたいと考えます。

◆行事、部活動等、生徒指導について

項目 27 「文化祭・体育大会・修学旅行等の学校行事は楽しく行えるよう工夫されている」  
(R1) 92.6% ⇒ (R2) 88.2%

項目 28 「ホームルーム活動や行事にはクラス全体で取り組んでいる」  
(R1) 90.3% ⇒ (R2) 90.3%

項目 29 「学習と部活動を両立している」 (R1) 50.9% ⇒ (R2) 65.5%

例年、90%を超えていた項目 27 が今年は体育大会の中止や文化祭での模擬店の中止などにより88%にまで落ち込んでしまいました。

しかし、豊高生の学校行事やHR活動への満足度は高く、項目 28 は昨年同様の数値となっています。

項目 29 は、「文武両道」を掲げる本校にとって非常に重要な項目です。部活動の制限が影響しているのか、昨年と比べると約15%も上昇していました。今後は、生徒・教員共に各自で感染症対策をきちんと行い、with コロナの中で行事や部活動を行っていくことが大切だと考えています。

◆全般について

項目 1 「学校に行くのが楽しい」

(R1) ①90.7% ②83.3% ③87.6% ⇒ (R2) ①87.7% ②86.2% ③85.6% 全体で0.7%減

項目 33 「豊中高校に入学してよかった」

(R1) ①94.1% ②88.1% ③89.5% ⇒ (R2) ①90.1% ②85.0% ③88.9% 全体で2.5%減

学校全般に関する項目について、いずれの項目もポイントを下げの結果となってしまいました。今年度は不安要素の多い年となってしまいましたが、このコロナ禍においても、生徒たちが魅力的で行きたいと思えるような学校であるようにしていかなければいけないと考えます。

◆教育相談等について

項目 25 「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる」

(R1) 50.0% ⇒ (R2) 51.4%

項目 26 「先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」

(R1) 87.8% ⇒ (R2) 85.2% (相対値)

項目 26 の結果については、「判断できない(わからない)」という回答が19%あったため、その回答を除いた相対値で算出しました。本アンケートと同時期に実施したいじめアンケートの結果をもとに、聞き取りを行い、共有しました。今後も、生徒の皆さん一人ひとりの状況や背景をしっかりと見守っていきます。また、教育相談室なども気軽に利用できるよう周知していきます。

◆各種学校の取り組み事業について

項目 15 「SSH 事業によるセミナーや校外研修などに取り組んでいることを知っている」(R1)

「理数系の課題研究の機会や、校外での施設見学、自然観察などの研修旅行の機会があることを知っている」(R2・一部文言を変更) (R1) 82.0% ⇒ (R2) 81.8%

項目 16 「SGH 事業によるセミナーやフィールドワークなどに取り組んでいることを知っている」(R1)

「文科系の課題研究の機会や、地域でのフィールドワークを行う機会があることを知っている」(R2・一部文言を変更) (R1) 79.3% ⇒ (R2) 71.4%

項目 17 「本校独自の学習サポートプログラム、海外研修など多様な企画を実施していることを知っている」 (R1) 82.6% ⇒ (R2) 90.3%

いずれの事業も学校外との連携によるものが多く、新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどが中止・延期・オンラインでの実施となってしまい、1年生を中心に認知度は低い結果となってしまいました。年度末に東京研修、国内留学プログラムを計画し、想定よりも多くの生徒からの申し込みがありました。次年度以降も、各事業の具体的な取り組みやその目的・意義を皆さんにお伝えすることにより認知度アップをめざします。

## 保護者アンケート調査結果のまとめ

### ◆ アンケート調査の方法について

本年度より、保護者の皆様からのアンケートも WEB 上からの回答をお願いしました。回答率は10%近く増加し、多くの保護者の皆様からご意見を頂戴することができました。また、授業見学や学校行事での参加など、お越しいただく機会が少なく「判断できない(わからない)」の項目を追加しました。本項目は肯定的回答には含まれないため、相対値を算出して昨年度との比較を行いました。

### ◆ 学習について

学習面について、「よくあてはまる」「ややあてはまる」を肯定的な回答とすると、

項目 5 「子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている」 (R1) 66.0% ⇒ (R2) 66.9%

項目 6 「学習評価の仕方は納得できる」 (R1) 92.5% ⇒ (R2) 94.3%

項目 7 「授業内容が子どもの学習や発達に刺激を与えている」 (R1) 81.5% ⇒ (R2) 84.2%

今年度は、保護者の皆様に授業を見学いただく機会がありませんでしたが、生徒を通じて本校での学習の様子をご家庭にも伝わっているように見受けられます。今後も学習意欲を高める講演や行事の取組みをさらに進めてまいります。

### ◆ 進路指導、学校行事、部活動、生活指導について

項目 12 「将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」 (R1) 83.0% ⇒ (R2) 84.5%

項目 13 「生徒の進路に関して、家庭への情報発信や連携ができている」 (R1) 74.3% ⇒ (R2) 71.3%

項目 27 「学校のホームページ(校長ブログなど)を見ている」 (R1) 76.6% ⇒ (R2) 76.9%

今年度は臨時休業に伴い、学校 HP・PTA メールを活用した連絡を行うこととなりました。日々の連絡については肯定的なご意見を頂戴しましたが、進路に関する情報提供を望むご意見がありました。次年度の課題として保護者の皆様へご提供できるような体制づくりに努めてまいります。

項目 15 「生活指導の方針に共感できる」 (R1) 90.5% ⇒ (R2) 87.5%

項目 14 「生活指導面で家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている」 (R1) 66.8% ⇒ (R2) 68.4%

生活指導に係るこれらの項目について、いずれも約7%の方々が「わからない」との回答でした。保護者の皆様にとって具体的にイメージすることが困難であったという印象を受けました。

### ◆ 全般について

項目 1 「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」 (R1) 87.5% ⇒ (R2) 89.1%

項目 2 「子どもは充実した学校生活を送っている」 (R1) 92.5% ⇒ (R2) 91.8%

項目 19 「子どもの心身の健康や進路について気軽に先生に相談できる」 (R1) 68.1% ⇒ (R2) 64.7%

項目 26 「PTA活動には参加しやすい」 (R1) 61.2% ⇒ (R2) 69.1%

様々な変更を余儀なくされた今年度ですが、学校に対するお子様の期待や充実度が例年通りであることを大変嬉しく感じました。今後も、各種行事や公開授業などの機会にぜひご参加いただき、お子様の様子や本校の教育活動に多くのご意見を今後も賜りますよう、どうぞよろしく願いいたします。